



唐子小だより



東松山市立唐子小学校
学 校 だ よ り
7 月 号
令和8年6月30日
唐子小学校長 梶野義明

学校教育目標 なかよく・かしこく・元気よく
～笑顔・夢・感動いっぱい唐子小～

〒355-0071 埼玉県東松山市新郷642 TEL 0493-22-0675 FAX 0493-22-1419

ご来校ありがとうございました

一日延期になりましたが、唐子スマイルフェスティバルを実施することができました。この日のために、子供たちは手間暇かけて連日さまざまな準備を進めてきました。どのクラスも工夫を凝らしたお店をつくり、当日も一人一人がその役割をしっかりと果たした結果、子供たちはもちろん、訪れた保護者や地域の方も皆、笑顔になっていました。

昨年、一昨年と比べると、片付けに時間がかからなくなったと感じました。子供の頑張りはもちろん、今年度はできるだけゴミが出ないお店作りに努めたことも大きいと思います。SDGsの観点からも意義ある取り組みでした。

唐子小学校は音楽集会や運動会その他、保護者や地域の方に活動の様子を見ていただく機会を作っています。唐子スマイルフェスティバルもまた、なかなかご家庭では見られないような子供の姿がご覧いただけたことと思います。当日はお仕事を調整していただいたり、お弁当を用意したりしていただき、ありがとうございました。次の機会も是非ご来校ください。

夏越の祓（なごしのはらえ）

本日6月30日は、「夏越の祓」です。これは別名「茅の輪くぐり」、「夏越大祓（なごしのおおはらえ）」あるいはまた「夏祓（なつばらえ）」「水無月祓（みなづきのはらえ・みなづきばらえ・みなづきばらい）」とも言われます。半年間で積もった心身に付着した罪や穢れを祓い清め、無事過ごせたことに感謝をし、残り半年の無病息災を祈願する伝統行事です。茅の輪くぐりをしたり、人形（ひとがた）流しをしたり、水無月を食べたりします。水無月とは、白いういろうに小豆をのせた三角形の和菓子で、三角形の形は氷を表し暑気払いの意味があります。小豆は邪気払いの意味があります。ちなみに、12月末に行うものは「年越の大祓」と言います。

実は、日本に生まれ半世紀以上生活しているにもかかわらず、私は「夏越の祓」なるものを知りませんでした。給食の「もりつけひょう」を見ていたところ、6月30日に「夏越の祓」と書かれていたため調べてみたところ、お恥ずかしい。給食に供されたのは「なごしごはん」でした。また、この時期に冷たい蕎麦やそうめんを食べるのもよいそうなので、今夜は蕎麦をいただきつつ、この半年の無事をしみじみ感謝しようと思います。

153回目の開校記念日に思う

7月6日は、唐子小学校の開校記念日です。1873年に都幾小学校として開校し、今年で153年となります。本校はこの長い歴史の中で、移転したり校名が変わったりと、たくさんの変遷がありました。私がお世話になっているこの2年少しの間にも、駐車スペースが舗装されたり、からこルームが設置されたりと、ソフト面・ハード面ともに大きな変化がありました。本校を卒業した保護者の方とお話ししても、「私が通っていたころは〇〇だった。」というようなことを聞かせていただくことが度々あります。今後も特別教室や体育館へのエアコン設置、校庭の散水機の設置等が予定されており、現状にとどまることはありません。

これから先ますます変化が激しい、予測不能な未来が待っています。学校は子供に予測不能な未来を生き抜く力を身に付けさせなければなりません。子供は言わばそのような未来からの留学生です。160回目、200回目の開校記念日を迎える未来の唐子小も、子供たちに確かな力を身に付けさせられる学校であり続けるよう、153年目の職員一同、頑張っています。